

2016年2月29日

ご契約者さま向けの健康増進サービスの拡充 レシピサイト「タニタの社員食堂」6カ月無料利用特典 および入院費用前払いサービスを開始

第一生命グループの一員であるネオファースト生命保険株式会社（代表取締役社長：徳岡 裕士）は、2016年3月1日より、お客さまの健康増進の取組みを促進し、健康寿命の延伸につながる新たなサービスを開始します。

1. ご契約者さま向けの健康増進サービス

(1) レシピサイト「タニタの社員食堂」6カ月無料利用特典の提供開始

2016年3月1日より、「ネオdeいりょう健康プロモート¹」（正式名称：無解約返戻金型終身医療保険（引受基準緩和型））のご契約者さまを対象に、株式会社タニタの子会社である株式会社タニタヘルスリンク（代表取締役社長：吉澤 正樹）が提供するスマートフォン・携帯電話向けレシピサイト「タニタの社員食堂」を6カ月無料（通常月額200円・税抜き）でご利用いただける特典を提供します。

本レシピサイトは、1定食あたりカロリー500kcal前後で塩分3g以下のタニタ食堂メニューをはじめとするヘルシーレシピ800以上を有料で公開し、栄養素表示や、メモ機能、タニタの管理栄養士への質問機能など、健康管理やダイエットに役立つ機能が充実しています。

健康の三大要素は栄養バランスのとれた「食事」、適度な「運動」、「休養」であるといわれています。当社が実施した生活者調査²では、成人の約4割の方が「現在、自覚している持病や症状がある」と答えています。また、食生活に気をつけているという方はそのうちの約6割となっており、何らかの持病のある方は健康な方よりも食生活の改善に対する意識が高くなっています。

「ネオdeいりょう健康プロモート¹」（正式名称：無解約返戻金型終身医療保険（引受基準緩和型））は、契約日から5年間、疾病入院給付金・災害入院給付金のいずれについても、入院給付金の支払われる入院がないか、またはその入院給付金の支払われる日数が通算して5日未満の場合、「健康割引特則」が適用され、以後の保険料が割引になります³。

お客さまにレシピサイト「タニタの社員食堂」をご活用いただき、食生活の改善につなげていただくことで健康維持・増進のサポートができればと考えています。

¹ 金融機関によって販売名称が異なります。

² 2015年12月調査（回答者：全国3,708人の20歳～79歳の男女）

³ 主契約の支払状況にて判定し、主契約以外の給付金がお支払いされた場合でも要件を満たす場合、健康割引特則が適用されます。健康割引特則が適用された場合、主契約に加えて付加されている各特約の保険料も割引引きされます。健康割引特則の適用による割引後の保険料は契約日における年齢および保険料率を基準に計算します。

(2) 健康ほっとダイヤル

上記の新たなサービスのほか、当社では、お客さまが健康に関してお困りのときに“ほっと”できるような生活を応援するサービスとして、ご契約者さま、被保険者さま、およびそのご家族がご利用いただける「健康ほっとダイヤル」のサービスを提供しています。健康・医療相談等のお電話によるご相談を承るほか、インターネットでのサービスも提供しています。例えば、「なりたい自分Web」は、最近の健康診断の結果や、ご自身のライフスタイルを入力するだけで、生活習慣改善のアドバイスが受けられる等、なりたい自分を目指す健康管理コンテンツとしてご利用いただけます。

2. 給付金のお支払いに関するサービス

(1) 入院費用前払いサービスの開始

2016年3月1日より、支払対象となる入院に対して、簡単な手続きで入院初期に一時金をお受け取りいただく「入院費用前払いサービス」を開始します。

入院時には、日用品代やご家族の交通費、入院前の検査費用、病院への入院保証金の支払いなどの諸費用がかかる場合があります。入院に備えるための給付として、当社では「ネオdeいりょう⁴」（正式名称：無解約返戻金型終身医療保険）および「ネオdeいりょう健康プロモート⁴」（正式名称：無解約返戻金型終身医療保険（引受基準緩和型））に付加できる特約保障に入院一時給付金、「ネオdeちりょう」（正式名称：無解約返戻金型治療保障保険）の基本保障に入院治療一時給付金がありますが、一般的に退院後に診断書を受け取ってからのご請求となるため、入院開始時に費用を一時的に立て替えていただく必要があります。

そこで、「入院費用前払いサービス」をご活用いただくことで、入院初期に前倒しで入院一時付金(入院治療一時給付金)を受け取ることが可能になります。これにより、必要な時に給付金をお受け取りいただけるため、安心して治療に専念いただけます。



※ 必要書類は当社ホームページからもプリントアウトが可能です。

※ 手続き方法につきましては、当社ホームページをご覧ください。当社コンタクトセンターにご連絡ください。

●対象商品・特約

無解約返戻金型治療保障保険もしくは入院一時給付特約・入院一時給付特約(引受基準緩和型)の付加がある契約

⁴ 金融機関によって販売名称が異なります。

●サービスを利用するための条件

- ①過去6カ月以内に入院したことがないこと
- ②ご契約後2年以内の病気を原因とする入院ではないこと

注：不慮の事故による入院の場合は、ご契約後2年以内でも上記①を満たせば、すぐに利用可能です。

(2) 先進医療給付金に関するサービス

上記の新たなサービスのほか、当社では、先進医療給付金に関するサービスも提供しています。

①先進医療情報検索ナビ

先進医療はその制度上、対象となる技術や医療機関が限られている⁵ため、当社では治療開始前や給付金をご請求いただく前に先進医療特約の対象となるかをご自身でお調べいただける情報検索サイト「先進医療情報検索ナビ」(<http://neofirst.co.jp/senshiniryonavi/>)を提供しています。

②特定先進医療キャッシュレスサービス

治療費が高額⁶となる「重粒子線」または「陽子線」の治療を受けたお客さまからのお申出により、先進医療給付金の対象かどうかを事前にお客さまにお知らせするとともに、先進医療給付金を別紙記載の対象医療機関⁷に直接お支払いする「特定先進医療キャッシュレスサービス」をご用意しています。

先進医療に対する技術料は公的医療保険の適用対象外であることにより全額自己負担となります。「特定先進医療キャッシュレスサービス」を活用いただくことで一時的に生じる高額な費用負担がなく、安心して治療に専念いただけます。

第一生命グループでは保険ビジネス（Insurance）とテクノロジー（Technology）の両面から生命保険事業独自のイノベーションを創出する取組みを“InsTech”（インステック）と銘打ち、最優先の戦略課題としてグループ全体で推進しています。その一環として第一生命が持つ約1,000万人のお客さま情報を含む医療ビッグデータ等の解析等を行い、更なるリスク細分化型の商品や、ご加入者の健康の維持・増進の取組みの促進につながり、健康寿命の延伸に貢献できるような新たな商品の開発を進めています。

お客さまの最も身近で大きな関心事は、いつの時代も「健康でいたい」という想いです。当社は、お客さまの人生に寄り添う保険会社として、お客さまが生活習慣を見直し、健康維持・増進のきっかけとしていただけるような新しい保険の仕組みをこれからも提供していきます。

以 上

⁵ 詳細は「ご契約のしおり・約款」をご確認ください。

⁶ 重粒子線治療 平均約308万円、陽子線治療 平均263万円。出典：厚生労働省「第26回先進医療会議資料」

⁷ 事前に当社のサービス導入についてご了解いただいている医療機関になります。詳細は別紙をご参照ください。

サービス対象となる医療機関（2016年2月現在、今後順次拡大する予定）

所在地	医療機関名称	重粒子線	陽子線
群馬県前橋市	群馬大学重粒子線医学研究センター	●	
佐賀県鳥栖市	九州国際重粒子線がん治療センター	●	
兵庫県たつの市	兵庫県立粒子線医療センター	●	●
千葉県柏市	独立行政法人国立がん研究センター東病院		●
福島県郡山市	一般財団法人脳神経疾患研究所附属南東北がん陽子線治療センター		●
茨城県つくば市	筑波大学附属病院陽子線治療センター		●
福井県福井市	福井県立病院陽子線がん治療センター		●
愛知県名古屋市	名古屋市立西部医療センター陽子線治療センター		●
長野県松本市	社会医療法人財団慈泉会 相澤病院 陽子線治療センター		●
静岡県駿東郡	静岡県立 静岡がんセンター		●